

## <金標準、関税発動に備えるリスク逃避の需要増・・・>



(出所：オアシス)

トランプ大統領は国境に対する非常事態宣言を行い、通商法 301 条などの 12 ヶ月以内の調査結果を待つ事無く、大統領の権限で関税を掛ける事ができる方法を使い、2月1日にカナダとメキシコに対して 25%、中国に 10%の関税を発動すると発言している。また鉄鋼、アルミニウム、石油・ガス、医薬品、半導体など幅広い輸入品に今後数ヶ月のうちに関税を課すと表明している。そのため金を筆頭に NY コメックスのショートポジションが 2020 年のコロナ禍の危機以来の低さまで解消されている。また関税発動までに先物の決済のため現物をロンドン市場から NY 市場へ移行させる動きが活発化しており、ロンドンの金リースレートが 7%まで急騰するなど、いびつな動きを見せている。そのため NY 金が高値追いを続ける中で、日銀や FRB、ECB などの金融政策を発表するも植田日銀総裁は「日銀が重視する基調的な物価上昇率は 2%に届いていない」と発言し、為替は円安の動きを見せるなど、金標準先物も 14000 円を超える動きに繋がっていると思われる。

### <テクニカル>

金標準先物の日足の MACD では、MACA が切り上げ、シグナルも切り上げている。RCI では短期が下げ止まり、長期は 93%を維持するなど強気の継続を示唆している。特に日足が 10 日移動平均線に沿った上昇を続けており、安易な売りは避けた方が無難と思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 2,100,000 円(2025 年 2 月 3 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 73,920 円(2025 年 2 月 3 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)  
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター  
<https://www.nisshokyo.or.jp>